

- 問1 12世紀後半、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、瀬戸内海の航路を整備しました。清盛がこのように港や航路を整えてまで積極的に行おうとした貿易の相手国である、当時の中国の王朝名を次の中から選びなさい。 (2019年 香川公立入試 類似)
1. 唐 2. 宋 3. 元 4. 明
- 問2 平安時代初期、遣唐使として唐に渡り帰国した僧たちの活動について、最澄の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗という新しい仏教の宗派を開いた。 2. 高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗という新しい仏教の宗派を開いた。 3. 唐での苦難を乗り越えて日本に來日し、唐招提寺を建立して戒律を広めた。 4. 平城京から平安京への遷都に際し、奈良の旧仏教勢力を代表して東大寺を守った。
- 問3 平安時代中期、摂政・関白として権勢を誇った藤原頼通が、京都の宇治に建立した阿弥陀堂を何と称しますか。当時の貴族の間で流行した、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰を象徴する建築物を選びなさい。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 法隆寺 3. 正倉院 4. 東大寺南大門
- 問4 894年に、唐の国勢の衰えや往復の危険性を理由として、遣唐使の派遣を停止することを提案した人物は誰ですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 菅原道真 2. 藤原道長 3. 空海 4. 最澄
- 問5 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川公立入試 類似)
1. 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した 2. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした 3. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた 4. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした
- 問6 平安時代後期、東北地方の平泉を拠点として三代にわたって栄え、金箔で覆われた豪華な仏堂である中尊寺金色堂を建立するなど、独自の仏教文化を繁栄させた一族を何と呼びますか。 (2021年 大阪公立入試 類似)
1. 奥州藤原氏 2. 平氏 3. 北条氏 4. 足利氏
- 問7 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が権勢を誇った時期の政治体制について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 高知公立入試 類似)
1. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を天皇に立て、自らは天皇の母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。 2. 天皇が位を譲って上皇となり、摂政や関白の力を抑えて、御所の中に設けた役所で直接政治を行った。 3. 天皇から征夷大將軍の職を授かり、地方の武士を統率する幕府を開くことで、独自の法律に基づいた統治を行った。 4. 遣唐使を廃止して国風文化を振興し、聖徳太子の定めた冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用を行った。
- 問8 平清盛が、現在の兵庫県神戸市にあたる大輪田泊（兵庫の港）を大規模に改修し、瀬戸内海の航路を整備した目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口公立入試 類似)
1. 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため 2. 明との間で勘合を用いた貿易を開始し、倭寇による海賊行為を防ぎながら利益を得るため 3. 元（モンゴル帝国）の軍勢が九州へ侵攻してきた際に、水軍を派遣して防衛するための拠点とするため 4. 遣唐使を派遣するための大型船を建造し、大陸の進んだ仏教文化を効率よく取り入れるため
- 問9 国風文化の特色の一つとして、日本人の感情を細やかに表現できるようになったことが挙げられます。この背景にある、文字の成立に関する説明として最も適切なものを選んでください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。 2. 朝鮮半島から伝わった「ハングル」をもとに、日本語の音に合わせた文字が作られた。 3. 仏教の経典を正確に写経するために、サンスクリット語をもとにした文字が使われた。 4. キリスト教の布教とともに伝わったローマ字が、貴族の間で急速に広まった。
- 問10 平安時代中期に行われた摂関政治について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 島根公立入試 類似)
1. 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。 2. 聖徳太子が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定して、天皇を中心とした国づくりを目指した。 3. 白河上皇が退位した後に、天皇に代わって政治を行う仕組みを整え、藤原氏の勢力を抑えようとした。 4. 平氏が太政大臣の職に就き、一族で高い役職を占めることで、武家として初めて政治の実権を握った。
- 問11 平安時代末期の年表において、平氏が権力を握っていた時期に行われた、中国の王朝との交流の名称と主導した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 静岡公立入試 類似)
1. 日宋貿易 — 平清盛 2. 日宋貿易 — 平将門 3. 日唐貿易 — 平清盛 4. 日元貿易 — 平氏一門
- 問12 894年に遣唐使が廃止されたことを一つの契機として、平安時代中期に発達した、日本の風土や日本人の生活・感情に合わせた独自の文化を何と呼びますか。 (2023年 岐阜公立入試 類似)
1. 国風文化 2. 弘仁・貞観文化 3. 飛鳥文化 4. 天平文化
- 問13 香川県（当時の讃岐国）出身の人物で、唐に渡って密教を学び、帰国後に高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた人物はだれですか。 (2024年 香川公立入試 類似)
1. 最澄 2. 空海 3. 鑑真 4. 行基
- 問14 平安時代の文化において、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂に代表される、阿弥陀如来を信仰して極楽浄土への往生を願う信仰を何と称しますか。また、その建築の特徴として正しい説明を選びなさい。 (2023年 富山公立入試 類似)
1. 浄土信仰（浄土教）に基づき、阿弥陀堂を池の中に配置して極楽の宮殿のように仕立てた 2. 禅宗に基づき、石や砂だけで自然の風景を表現する枯山水の庭園を備えた 3. 念仏札を配り歩く踊念仏の拠点として、全国の主要な街道沿いに建立された 4. 武家社会の風習を取り入れ、質実剛健な書院造の様式を初めて採用した

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 宋	平清盛は、平安時代末期に日宋貿易を推進することで平氏の経済的基盤を固めました。当時、貿易の拠点として大輪田泊（現在の兵庫県神戸市）を整備し、瀬戸内海の航路を確保することで、宋から輸入される銅銭（宋銭）や陶磁器、香料などを手に入れ、絶大な権力を握る背景となりました。
問2	答え 1 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗という新しい仏教の宗派を開いた。	最澄は804年に遣唐使として唐へ渡り、帰国後に比叡山を拠点に天台宗を確立しました。同じ遣唐使の船で渡った空海が高野山に金剛峯寺を建てたことや、奈良時代に苦難の末に來日した鑑真の事績と区別することが正解へのポイントとなります。
問3	答え 1 平等院鳳凰堂	藤原氏による摂関政治の全盛期に、藤原道長の子である頼通によって建立されました。当時の社会に広がっていた「末法思想」を背景に、阿弥陀如来を信じて極楽浄土への往生を願う浄土信仰（浄土教）が具現化されたものです。屋根に据えられた鳳凰などが特徴で、10円硬貨のデザインにも採用されています。
問4	答え 1 菅原道真	当時の中国（唐）の情勢が不安定であったことや、遣唐使がたどる航路の危険性を考慮し、無駄な犠牲を避けるために派遣の中止を訴えました。この決定により、日本は中国の文化を咀嚼し、独自の国風文化を育む時期へと移行していくことになります。
問5	答え 1 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。
問6	答え 1 奥州藤原氏	奥州藤原氏は清衡・基衡・秀衡の三代にわたり、現在の岩手県平泉を中心に東北地方を支配しました。中尊寺金色堂は、当時東北で産出された豊富な金を使用した建築物であり、その豪華な装飾は一族の強大な経済力と、仏教による平和な国づくりを目指した思想を象徴しています。
問7	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を天皇に立て、自らは天皇の母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。	藤原氏は、娘を天皇と結婚させて生まれた子（孫）を次の天皇に即位させることで、強力な血縁関係（外戚関係）を築きました。この立場を利用して、天皇が幼少の間は「摂政」、成人してからは「関白」の職に就き、政治を思いのままに動かしました。これが摂関政治の仕組みです。
問8	答え 1 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため	平清盛は、従来の貴族による政治とは異なり、大陸との経済的な結びつきを重視しました。大輪田泊（兵庫の港）を整備して日宋貿易を推進した背景には、宋から輸入される宋銭を国内で流通させたり、高価な品々を扱うことで得られる経済力を、平氏の権力を維持するための資金源にするという狙いがありました。他の選択肢にある勘合貿易は室町時代、元への防衛は鎌倉時代、遣唐使はより古い時代の出来事です。
問9	答え 1 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。	国風文化の時期には、漢字の草書体をさらにくずした「平仮名」や、漢字の一部からとった「片仮名」が考案されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の微妙な感情や言葉の自由に書き表せるようになり、『源氏物語』や『枕草子』といった優れた女流文学が生まれる大きな要因となりました。
問10	答え 1 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。	藤原道長や頼通の親子が約50年間にわたり摂政・関白を務めた時期に、摂関政治は全盛期を迎えました。彼らは公文書の作成や人事権を握り、華やかな貴族文化を背景に絶大な権力を行使しました。他の選択肢は、飛鳥時代、院政期、または武家政権の説明です。
問11	答え 1 日宋貿易 — 平清盛	平安時代末期に太政大臣として政権を掌握した平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国の宋王朝との間で日宋貿易を本格化させました。平将門は平安時代中期に関東で反乱を起こした人物であり、貿易を主導した事実はありません。また、当時の中国の王朝は宋（北宋・南宋）であり、唐や元とは時期が重なりません。
問12	答え 1 国風文化	菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されたことで、それまでの中央集権的な唐の文化を模倣する段階から、日本の独自の感性や生活様式を取り入れる段階へと移行しました。この時期に開花した日本独自の文化を国風文化と呼びます。
問13	答え 2 空海	空海は現在の香川県にあたる讃岐国の出身で、唐から帰国した後に真言宗を伝え、高野山に金剛峯寺を開きました。選択肢にある鑑真や行基は奈良時代に活躍した人物であり、最澄は同時期の人物ですが、比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めた点が異なります。
問14	答え 1 浄土信仰（浄土教）に基づき、阿弥陀堂を池の中に配置して極楽の宮殿のように仕立てた	藤原頼通の時代には国風文化が全盛を極め、貴族の間で浄土信仰（浄土教）が深く浸透しました。平等院鳳凰堂は、その信仰を具体化したもので、阿弥陀仏が住む極楽浄土の宮殿を模して造られています。池の中央に中堂を置き、左右に翼廊を広げた姿は、まさに阿弥陀仏が迎えてくれる世界を表現しています。枯山水や書院造はのちの時代の文化の特徴であり、踊念仏は鎌倉時代の時宗に見られる特徴です。